

太田中生 11 日学校祭で販売

食用花使ったパン完成



大仙市太田町の太田中学校の生徒たちがオリジナルのパン3種を考案し、11日の学校祭「太中祭」で販売する。花壇整備や花卉栽培が盛んな「花のまち太田」にちなんで、エディブルフラワー(食用花)を使っている。

3種のうち「モニ花あんパン」と「モニ花クリーム」は、学校のイメージキャラクター「モニ花」の顔をかたどった。エディブルフラワ

ーや手描きのイラスト、カボチャの種で丸いパンを飾り付けている。

「太田チョコパン」はエディブルフラワーを「O」の字に見立て、チョコレートの文字「TA」と組み合わせてパンの表面を飾った。

3種各150円。エディブルフラワーはマリーゴールドやジニアなど多様な品種を使う。

美術部員など3年生有志9人がプロジェクトチームをつくり、7月からアイデアを出し合ってデザインを考えた。地元パン店「ヴァンヴェール」やエディブルフラワー生産者の協力を得て、打合せを重ねて販売にこぎ着けた。

プロジェクトチームの鈴木大珠リーダーは「協力してくれた皆さんに感謝している。太中祭で地域の多くの人に食べてほしい」と語った。

11日午前10時から販売。数量は各50個。(佐藤拓)

(令和7年10月9日(木)秋田魁新聞より一部抜粋)